

2006年度メキキズ・ビジネスシリーズ調査資料(一般)

# 「ビジネスマンのための情報収集と分析」

2006年 (V1.0)

NTTアドバンステクノロジー(株)  
メキキズ・ビジネスチーム  
印牧直文

## はじめに

・本調査資料は、ビジネス活動をする際に使う情報を集め分析する方法・ノウハウをまとめたものである。10年以上に及ぶ情報収集と情報分析に従事してきた実務体験・経験を踏まえ、まとめたものである。

・本調査資料の特徴は、

- (1) 安い仕入れ値で高く売るための製品販売を支援する情報収集分析
- (2) 差分(比較)と根拠(理由)を探す情報収集分析

に分けて方法・ノウハウをまとめている点である。

・本調査資料の構成は、第1章ではビジネスと情報収集分析について市場の特性の観点から整理し、第2章では、技術(商品)の観点、金銭の観点、情報の観点、ビジネス予測の観点から整理されている。

# 目次(1/5)

## 1. ビジネスと情報収集分析

### < 安い仕入れ値で高く売るための製品販売を支援する情報収集分析 >

#### 1.1 市場特性の観点から見る

- ・市場の中に存在する「困っている点」を探す
- ・波及範囲(市場規模)は目標達成期間によって変わる
- ・安い仕入れ値で高く売るハイテクプロダクト(製品)
- ・市場の成長プロセスから見た3種の着眼点
- ・ビジネスの基本である3筋商品に関する情報収集分析

#### 1.2 作る世界(技術)と売る世界(ビジネス)との間のギャップを見る

- ・時間と金銭と製品と人材の切り口が重要視される
- ・時間・金銭・商品・人材について金換算ものさしで定量化

## 目次(2/5)

### 2. 情報収集分析の基本

#### < 差分(比較)と根拠(理由)を探す情報収集分析 >

##### 2.1 技術(商品)の観点から見る

- ・技術評価は市場に連動した時価相場である
- ・「技術の生みの親」より「技術の育ての親」の情報が重要
- ・安い技術(特許)を仕入れて大きなビジネスを開く
- ・産業技術評価の4要素に対応する情報が重要
- ・技術は代替技術によって寿命が来る(商品寿命の予測)
- ・技術目利きは真贋判定よりも複製品の市場波及評価の力量が問われる
- ・特許の真作/贋作/(偽作・模作)に関する情報収集分析

##### 2.2 金銭の観点から見る

- ・ビジネス展開のための7種の情報収集分析
- ・米国投資家の行動プロセスに着目した新規ビジネスの情報収集分析
- ・投資資金の分配方式(金の流れ)に連動する情報発生形態
- ・ベンチャー企業に関する売掛金と在庫費用の情報収集

## 目次(3/5)

### 2.3 情報の観点から(1/2)

- ・「再現性ある情報」と「シナリオ」と「予測」によって「感動」を与える情報収集分析
- ・トムとジェリー(Tom & Jerry)技法を使って不足な情報を捜す情報収集分析
- ・日本では情報価値(買値)が情報品質と正比例の関係にない
- ・米国では情報価値(買値)が時間と逆比例の関係
- ・リアクション行動とアクセス行動に関する情報収集
- ・情報価値と時間経過との関係
- ・思い入れと流布範囲によって変動するネーミング価値(単語の情報価値)
- ・戒名の格付けに対するネーミング価値(戒名料)
- ・日本語記述情報収集に関する造語の問題所在
- ・日本語記述情報収集に関する単語の定義の曖昧さの要因
- ・審議会答申ごとに公文書の単語の定義が変化
- ・日本語記述の政府関連情報はwhy?情報がない会見要約情報
- ・日本政府への記者クラブ廃止に関するニュース記事の各メディア発表状況
- ・日本政府への記者クラブ廃止の要請宣言文の内容(2002年12月10日発表)
- ・日本の記者クラブ制度の廃止に関するEU提案(2003年秋発表)

## 目次(4/5)

### 2.3 情報の観点から見る(2/2)

- ・日本にいる外国人特派員が2003年夏から1年間に大量に国外に移動
- ・世界報道自由ランキング(168カ国:2006年10月24日に発表)
- ・北米地域とアジア地域(2006年世界報道自由ランキング)
- ・ヨーロッパ地域/ロシアと中東/北アフリカ地域(2006年世界報道自由ランキング)
- ・アフリカ地域(2006年世界報道自由ランキング)
- ・日本のテキストコンテンツ環境においては更に翻訳・通訳が重要視される
- ・報道の自由度を考慮した背面調査による情報収集分析(2004年)
- ・2004年報道の自由度国別ランキング 1/5~5/5 (第1位~第167位)
- ・和製英語(Japlish)を本当の英語に直してからの情報収集分析
- ・主な和製英語(Japlish)の例(IT関連)
- ・ニュース記事等情報の捏造が発生し易い環境に留意した情報収集分析
- ・科学技術論文の不正行為(ミスコンダクト)の種類に留意した情報収集分析
- ・再現性に関する情報が重要:ベル研の科学技術論文の捏造事件(シェーン事件)
- ・ベル研の科学技術論文の捏造事件(シェーン事件)の概要(1998 - 2002)
- ・ベル研の科学技術論文の捏造事件(シェーン事件)の関係者の特許出願件数
- ・ベル研の科学技術論文の捏造事件(シェーン事件)の発明者と特許名称との関係

## 目次(5/5)

### 2.4 ビジネス予測の観点から見る

- ・日本の助成金ビジネスの予測はし易い
- ・技術予測年表に着目したブロードバンド(ユビキタス)技術ビジネス予測
- ・旧科学技術庁による通信分野の技術予測年表の例
- ・人材の流れに着目した技術ビジネス予測
- ・周期性がある行動様式(生活様式)に着目したビジネス予測
- ・女性服の流行色に関する周期性の例
- ・国内向け国産自動車ボディカラーに関する周期性の例

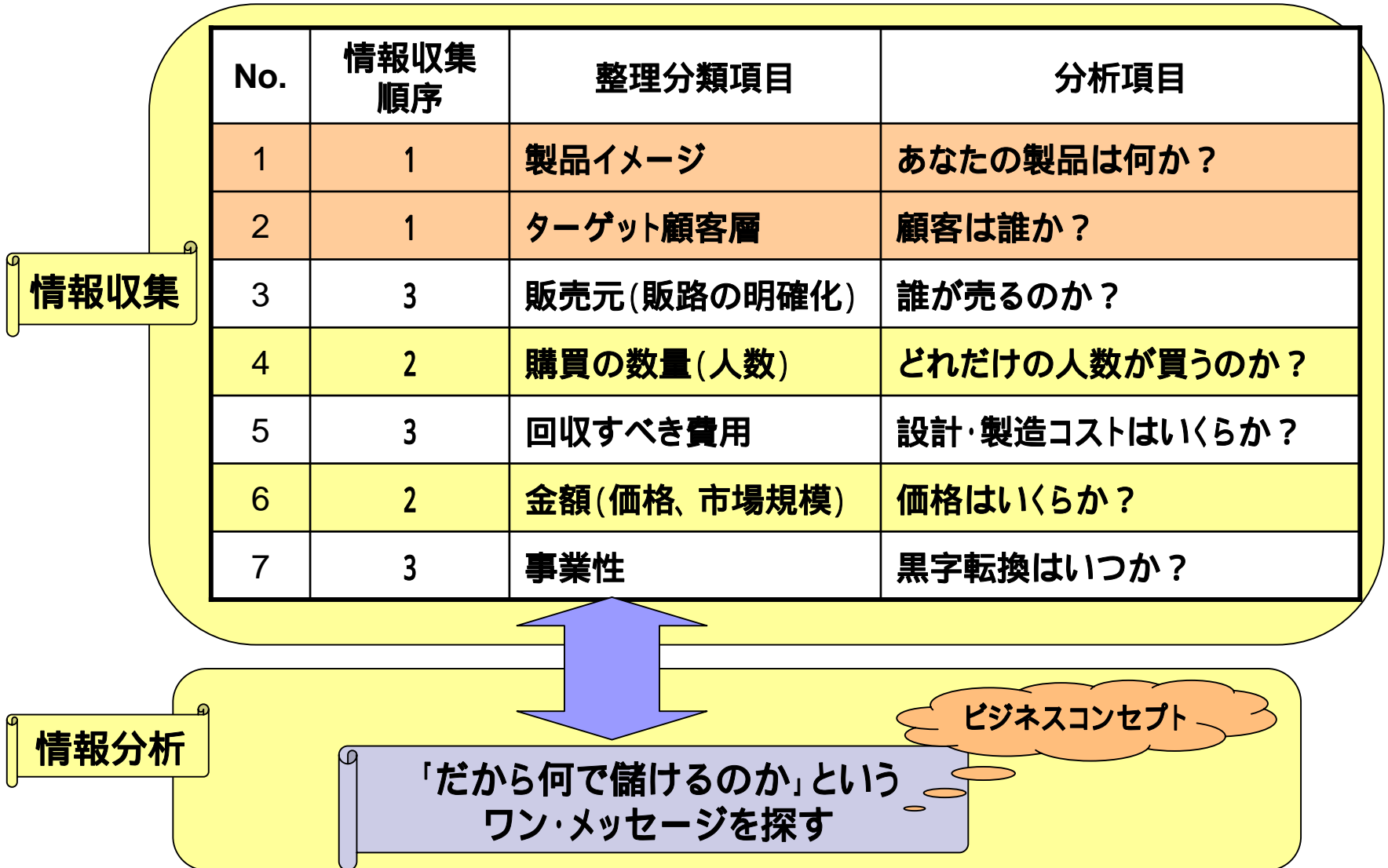
### 2.5 トレードショウ(海外展示会)参加の観点から見る

- ・トレードショウのブース訪問はビジネス上のリスクを低減させるベストなアプローチ
- ・最初に持ち時間1/3で徒歩ルートの戦略計画書作り
- ・サンプル例:報告書の概要
- ・サンプル例:報告書の詳細説明 1/4 ~ 4/4

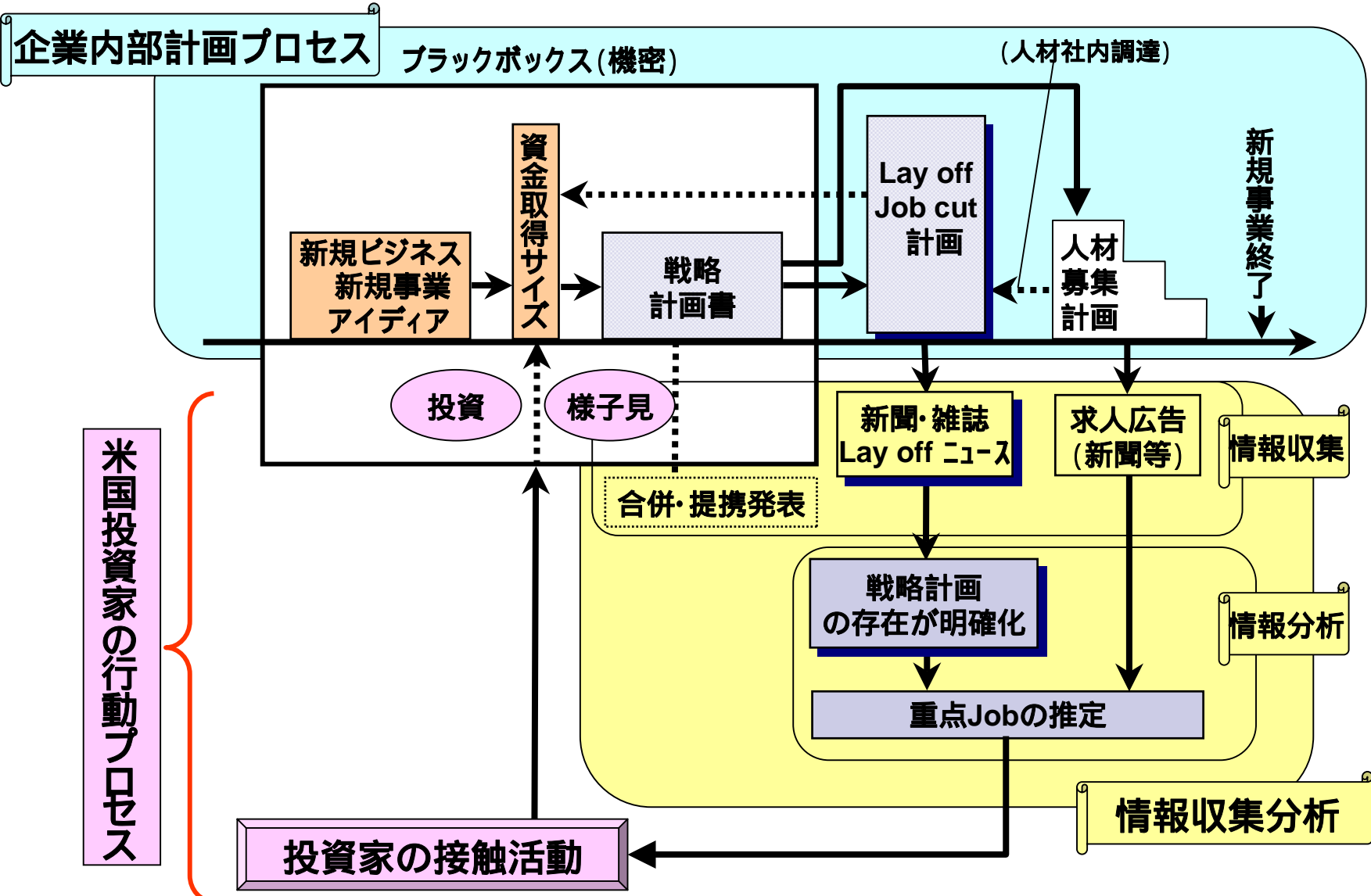
### 3. プレゼンテーション説明者のビジネス経験と背景

## 2.2 金銭の観点から見る

# ビジネス展開のための7種の情報収集分析



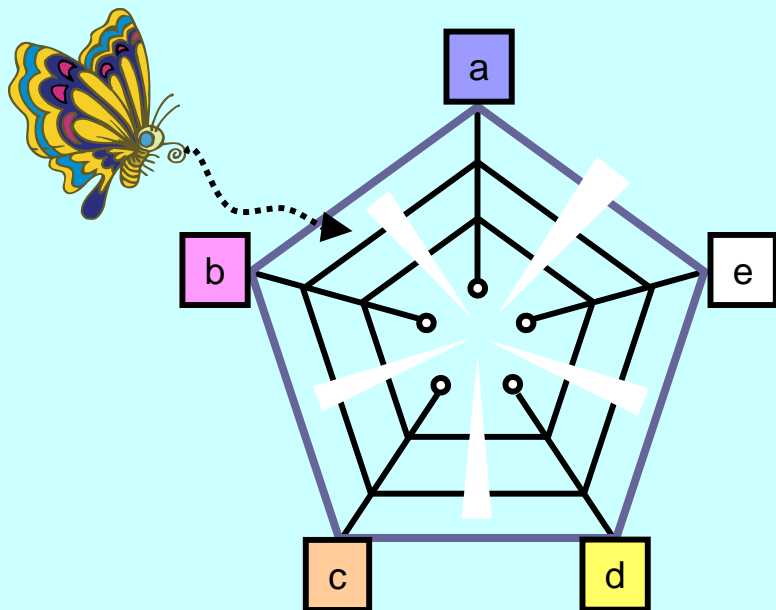
# 米国投資家の行動プロセスに着目した新規ビジネスの情報収集分析



# 投資資金の分配方式(金の流れ)に連動する情報発生形態

(注) a/b/c/d/e: 金の投資箇所と情報発生箇所

(方式1) ベンチャーキャピタリストの資金分配方式

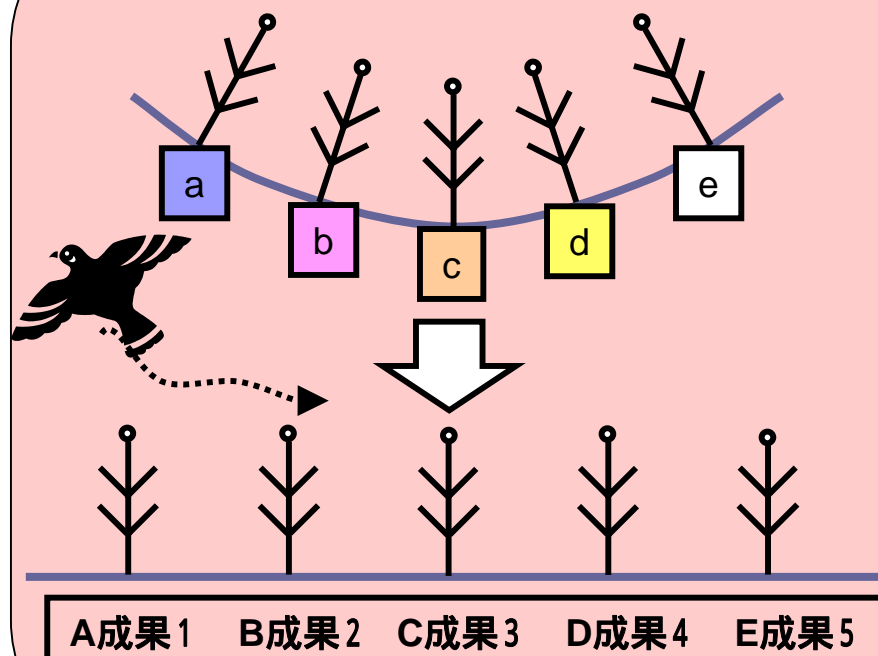


< 蜘蛛の巣のスタイル >

情報収集分析

中核情報の周りに重要情報が群がる

(方式2) 大学教授の資金分配方式



< 並木道のスタイル >

時間軸

重要情報が時間差をもって数珠状に繋がる

# ベンチャー企業に関する売掛金と在庫費用の情報収集

